工芸関係者のみなさまへ　　令和３年８月吉日

今年から
はじめます

1週間だけ　＼ご一緒しませんか？／　年に一度だけ　季節だけでも

日本工芸週間

トライアル

「工芸の情報はどこで探せばよいのですか?」とよく聞かれます。
地域も内容も、それぞれやりたいことが別々だから、見わたすのは当然難しい。
そこで、せめて発信する時期だけでも揃えてはどうかと考えました。
ある期間に限定し、参加者は多様な情報を多様なまま、ただ発信するだけ。
これを集約するだけで「工芸」が見わたせる。
そんな工芸週間をご一緒につくりませんか?

求む！ご紹介や関係者内の拡散もお願いします！

ご参加ください 1　9月22日夜 オンライン工芸有識者会議「100人の工芸」開催

近年の多様な工芸の動きをご紹介しながら、
次年度以降の日本工芸週間トライアルプロジェクトの構想の提案を行います。

ご参加ください 2　全国の工芸に関する活動紹介募集（2021年9月15日まで受付）

事業ごとに皆様の活動をまとめた150文字の紹介文を公式webサイトに集約し、
工芸の情報を広く伝えるトライアルを行います（詳細４ページめに記載）。

ご参加ください 3　工芸の素材と道具、工程技術者に関する調査（2022年3月31日まで受付）

近い将来に枯渇が懸念される工芸素材や道具、工程技術者に関する２種の調査について、
９月26日にウェビナーを開催し、広くご協力を呼びかけます。

日本工芸週間トライアルプロジェクト実行委員会

事務局　一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン（CoJ）内
〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-12 壹番館３階
MAIL：info@thecreationofjapan.or.jp（問い合わせなど）info@takagamine.jp（「日本工芸週間」情報集約提出先）
TEL：03-3573-3339　FAX：03-3573-3315

実行委員会（団体・個人）
委員長 林田英樹　副委員長 室瀬和美　委員 秋元雄史／浦 淳／山崎伸吾／山田 立
委員（団体） 公益社団法人日本工芸会／認定NPO法人趣都金澤／一般社団法人パースペクティブ／一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン

日本工芸週間構想とは？

自然素材や、有史以来の人類の知恵、そして地域の育みの結晶である「工芸」。
日本に暮らすだれもが工芸に親しむ期間、年に一度の「日本工芸週間」構想を皆様に提案いたします。
毎年お彼岸（9月中旬～下旬）の時期、多様な工芸情報を各々自発的に提供・集約し、
一般の工芸ファンが「探す」「知る・出会う・学ぶ」ことができるようにする週間を目指しており、
ご家庭では家族や仲間と一緒に、ハレの日として普段より少しよい工芸を楽しむことを提案していきます。
工芸関係者間では、ジャンルを越えた共通課題を話し合う場づくりを目指します。

ここ数年、日本の工芸の重要性と共に、その継承の危機感について話し合いを重ねてきましたが、それを幅広く発信し多くの方々に共有していただきたいと思いました。工芸を取り巻く人々は厳しい状況の中、次世代に何をどう残すかを案じ、このままでは工芸の未来に不安を感じている人も多いかと思います。
しかし、実は日本の工芸には世界が評価をしはじめています。この日本工芸週間に多くの皆様が参加することで、日本工芸文化の価値や未来への想いを共有し合う場としましょう。その場で工芸の材料や道具の問題についても話題にすることが、次世代への継承に繋がるきっかけになります。日本の工芸に向き合い、工芸の可能性を語り合いませんか。

漆芸家／重要無形文化財（蒔絵）保持者／公社 日本工芸会副理事長 室瀬和美

日本工芸週間構想とは？ 7つのポイント

1

1. 探す
工芸の情報あれこれを皆で出し合って
集約・アップデートすることで探しやすく。

2. 楽しむ
楽しんでいる姿は人を動かします。
工芸のワクワクを、いたるところへ拡げましょう。

2

3. 知る、出会う
活動やイベントを知らせたり、仲間の募集を行いましょう。

4. SNSチャレンジハッシュタグ
ハッシュタグを決めて呼びかけ、
全国から、生きた工芸をSNSで拡散しましょう。

3

5. オンラインで学ぶ
工芸をオンラインでどう魅了するか、チャレンジしましょう。
ゆくゆくは海外へ発信も！

6. オンライン学会に参加
関係者・研究者間で情報のアップデートを行いましょう。
絶滅が危惧される素材や道具については特に重要です。

7. 仲間を増やすパワポセッション
工芸に関係して全国に呼びかけたい内容のあるかたは
パワーポイント20枚以内にまとめて、
公式ページ上で発表しましょう。

4

5

6

7

ご参加ください1 9月22日夜 オンライン工芸有識者会議「100人の工芸」開催

オンライン工芸有識者会議「100人の工芸」

日本工芸週間トライアル構想とは? 多種多様な工芸の魅力を集約、力にしよう

本シンポジウムは、ここ数年の工芸の大きな動きを複数の登壇者が短時間で紹介するライトニングトークからはじまります。そののち、100年先の工芸のために、年に一度の「日本工芸週間」構想をご提案し、工芸の未来をつくる皆様にご参加を仰ぎ、事前アンケートに基づきご発言いただきます。

日時	2021年9月22日(水) 19時～20時40分(100分) 開室18時30分～(※終了後アフタートーク座談会あり)
参加費	無料 ※500名まで
主催	日本工芸週間トライアルプロジェクト実行委員会
ファシリテーター	塩瀬隆之[京都大学総合博物館准教授]
登壇	林田英樹[公社 日本工芸会理事長／一社 ザ・クリエイション・オブ・ジャパン代表理事] 室瀬和美[漆芸家・重要無形文化財「蒔絵」保持者] 工芸の未来をつくるキーパーソンが多数出演

▼参加登録はこちらから

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_gsM7F0McTZivxMH22J0RmA

登録時に下記の事前アンケートにご記入いただき、当日はそれに基づいて意見交換を進行いたします。

Q1 工芸情報の発信力についての意見交換のために

アートに比べ、工芸に関する展覧会やイベント、ニュースなどの情報はとても探しにくく、一般のファンはもちろん、メディア関係者にとっても「見つけにくい」「探しづらい」と思われています。いっぽう、工芸の情報を発信する側は、予算不足の中がんばって発信しても、求めている人たちに届かず、反響が得られず、悩むことが日常茶飯事です。情報が届く仕組みづくり、工芸の情報がシェアされる力を増す方法など、効果的な手法や提案をご記入ください。

Q2 工芸を盛り上げるために何をしたらよいか?

考えられる方策を以下のいずれかの設問を選んでご記入ください。(複数回答歓迎)

A 「現代に生きるつくり手の作品を海外に大きく展開してゆくには」

B 「よいものを見分けるつかい手を増やすには」

C 「現代の暮らしに採り入れると工芸が盛り上がる、現代にマッチする風習とは?」

Q3 工芸のジャンルを越えた共通課題は

工芸の100年先のために、ジャンルを越えた共通課題があればご記入ください。

日本工芸週間のなかで採り上げていくテーマとしていきます。

ご参加ください2　全国の工芸に関する活動紹介募集（2021年9月15日まで受付）

日本工芸週間トライアルプロジェクトのはじまりに、全国の工芸に関する活動紹介の集約に挑戦いたします。
以下の要領で情報（活動紹介テキスト＋詳細が記載されたURL）を、事務局宛にメールしてください。
※本事業はボランティアによって運営されているため、お早めにご送付いただけると助かります。よろしくお願い申し上げます。

活動紹介の場合

宛先: info@takagamine.jp Ⓐ
Cc:
Bcc:
件名: 活動紹介　〇〇〇〇〇とは Ⓑ
差出人:　　署名: 署名 #2

1行目　〇〇〇〇〇とは？ Ⓑ
2行目以降（150文字以内 活動紹介）
〇〇〇〇◎〇〇〇〇■〇〇〇〇◎〇〇〇〇■〇〇〇〇◎〇〇〇〇■
〇〇〇〇◎〇〇〇〇■〇〇〇〇◎〇〇〇〇■〇〇〇〇◎〇〇〇〇■
〇〇〇〇◎〇〇〇〇■〇〇〇〇◎〇〇〇〇■〇〇〇〇◎〇〇〇〇■ Ⓒ
〇〇〇〇◎〇〇〇〇■〇〇〇〇◎〇〇〇〇■〇〇〇〇◎〇〇〇〇■
〇〇〇〇◎〇〇〇〇■〇〇〇〇◎〇〇〇〇■〇〇〇〇◎〇〇〇〇■
最終行（ホームページアドレス もしくは詳細が掲載されたURL）

担当者様のお名前
ご連絡先
所属と役職等 Ⓓ

A info@takagamine.jp

B 団体名・事業名をご記入下さい
（後ろに「とは」と付けてご記載下さい）

C 活動の内容を150文字以内でご記入下さい

D 必ずご記入下さい。
公式ページに掲載され次第、ご連絡致します

工芸の活動紹介コーナー　ご提供の情報の記載サンプル

宛先: info@takagamine.jp
件名: 活動紹介・日本工芸会とは
差出人:　　署名: 署名 #1

公益社団法人日本工芸会とは?
（150文字以内）文化財保護法の精神に則り、無形文化財の保護育成を図るために、1955年に工芸作家が中心となって設立され、日本伝統工芸展を毎年開催しています。会員総数は約2,200名。陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の七つの部会で活動しています。
https://www.nihonkogeikai.or.jp

日本伝統工芸展とは?
（150文字以内）工芸技術の発表の場として、また工芸技術の保存、継承のため、9月の東京会場（日本橋三越本店 9月15日～27日）のほか全国に巡回して開催します。1954年に第1回が開催され、以来、工芸分野で唯一の国が主催に入る最大級の公募展です。
https://www.nihonkogeikai.or.jp/exhibition

一般社団法人 ザ・クリエイション・オブ・ジャパン（CoJ）とは？
（150文字以内）工芸の世界において、情報の分断によるさまざまな無駄や文化的損失を少しでもなくすために立ち上げた組織がCoJです。工芸の世界で横断的連携を実現するために考え、行動し、100年後の工芸のために活動しています。京都、東京、石川の3都市で、21世紀鷹峯フォーラム（2015－2017）から始めました。
https://thecreationofjapan.or.jp

※ショップやeコマース（EC）、オンラインコミュニティ、美術館・博物館、工房、工芸教育研修機関、研究機関など、あらゆる工芸に関わる方々の活動紹介情報をお待ちしております。

工芸ピクニックとは？
（150文字以内）CoJが2017年より提案する、工芸を介した新たな社交のかたちです。立ち上げ時には東京ピクニッククラブに協力を仰ぎ、9つのルールをつくりました。仲間との交流のほかに、国際文化交流、家族で楽しむ行事にもなります。金沢、ロンドン、丸の内などで実施。国内外各所で企画準備中です。
https://thecreationofjapan.or.jp/project/picnic

工藝の森とは？
（150文字以内）工藝の森は、モノづくりの起点が自然にあることに着目し、行為循環型のモノづくりを通して、人と自然の健やかな関係性が再構築されることを目指すビジョンです。京北地域を主なホームベースに、工芸を未来へとつなぐ森づくり、森を起点・終着点とするモノづくりを行っています。（運営：一般社団法人パースペクティブ）
https://www.forest-of-craft.jp

北陸工芸の祭典「GO FOR KOGEI 2021」とは？
北陸工芸の祭典「GO FOR KOGEI 2021」は、富山、石川、福井の北陸3県を舞台に繰り広げられる、工芸のイベントです。「工芸の時代、新しい日常」をテーマに、現代アート化する工芸とデザイン化する工芸を、高岡、金沢、小松、越前で同時開催する2つの［特別展］で展開するとともに、北陸の工芸産地をリアルとオンラインで［巡る］プログラムをお届けします。
詳細案内：https://goforkogei.com/

ご参加ください3　工芸の素材と道具、工程技術者に関する調査（2022年3月31日まで受付）

工芸を作り続けるために必要な素材や道具のなかで、枯渇が懸念されるものの持続的確保に向けて、実際に講じることのできる手立てを探るための試みです。情報システム構築と調査、マッチング・普及啓発を行う事業を、日本工芸週間トライアルに合わせて毎年開催していきたいと考えています。
遠くない未来、いま電話一本で入手できるものの多くが、急に入手できなくなる日がやってきます。一旦失われたものの復活には大きなエネルギーを要し、実際に使える素材や道具をつくることは容易ではありません。
いまやっておくべきことを、多くのかたのご理解を得ながら、ひとつひとつかたちにしていく場づくりを目指します。

第一歩として、以下の２種の調査・募集用紙により情報集約の協力を呼びかけます。
いただいた情報は取り扱いに注意し、本課題に関係する行政自治体と共有のうえ、以降４年間の活動の軸にいたします。
巻末のアンケート用紙をプリントしてご記入のうえ事務局宛にFAX送付、もしくはメールで番号ごとに回答を記載して事務局まで送信してください。

1.「WANTED！」
ものづくりの製作者が実際に探している「素材」や「道具」および「工程技術者」を、求める条件を明らかにして記載するものです。お近くの製作者がお探しのものがあれば、聞き取りのうえご記入ください。

2.「イエローリスト2021」
ご自分のみならず、同業もしくは異業種でも確保に困っている、社会課題としての側面のある素材や道具、工程技術者の枯渇情報を記載するものです。伝聞情報の場合は、実際に困っているかたの情報をご記入ください。

●9月26日にこの調査について協力を呼びかけるウェビナーを開催いたします。

絶滅危惧の素材と道具「明日もつくりつづけるために」

近い将来、枯渇が想定される工芸素材や道具について、課題の種類、そして現代ならではの新たなアプローチを行っている関係者を紹介。調査・募集「WANTED！」「イエローリスト」への記入のご協力を呼びかけます。この調査・募集は、４年に１度行っていく予定です。

日時　2021年9月26日（日）　14時～15時40分（100分）
開室13時30分～（※終了後アフタートーク座談会あり）
参加費　無料　※先着100名まで
主催　日本工芸週間トライアルプロジェクト実行委員会
共催　一社 ザ・クリエイション・オブ・ジャパン（CoJ）
パネリスト　佐藤真久［東京都市大学大学院環境情報学研究科教授］
塩瀬隆之［京都大学総合博物館准教授］
下村 輝［下村ねん糸代表、日本竹筬技術保存研究会代表］
中台澄之［（株）ナカダイ代表取締役］
松沢友紀［いであ（株）国土環境研究所生物多様性研究センター主査研究員］ほか
室瀬和美［漆芸家・重要無形文化財「蒔絵」保持者］
進行：岩関禎子、坂井基樹［CoJ］

▼参加登録はこちらから
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_ydUkGgASRQyfBciLhY9MBg

WANTED!

来年も、将来も、つくり続けるために。求む！提供者、情報。入手困難で、探している工芸素材、道具、工程技術者はこれです

＊本用紙に記入のほか、メールで記入欄の番号順に情報をお送りいただくこともできます　＊送信時の件名は「WANTED!」でお願い致します

写真添付欄	構造説明 図解など

品名·工程名

1

求める条件（**求める機能、サイズ、素材、数量などできるだけ詳しくご記入ください**）

2

ここから非公開情報

希望価格帯は?

（お試しのロット）で（いくらからいくら）

3

通常の発注量は?

4　　年で　　くらい

その他の情報:

5 選択式

- ☐ 「使える」ものである必要がある　（条件:　　）
- ☐ 安定供給を希望する
- ☐ 他にも希望者を集めたい　（☐ 同業者　☐ 異分野 ）
- ☐ （設備の場合）リースやレンタル、シェア工房も検討したい
- ☐ （部品の場合）廃業者の設備から再活用可能なパーツの譲渡を可能にすべき
- ☐ （工程技術者の場合）どこか団体で仕事を常時受けてもらえる環境をつくって欲しい

回答者情報	
お名前：**6-1**	所属：**6-2**
お電話：**6-3**	メール：**6-4**
ご住所：**6-5**	

記入後送付先

FAX：03-3573-3315　　MAIL：info@thecreationofjapan.or.jp

YELLOW LIST 2021

10年先に枯渇が懸念される工芸素材・道具・工程技術者調査

＊本用紙に記入のほか、メールで記入欄の番号順に情報をお送りいただくこともできます　＊送信時の件名は「イエローリスト2021」でお願い致します

公開情報

枯渇が懸念される素材や道具の名称をお答えください	種別（✓記入）	その用途や使用する工程などをご記入ください
1-1	1-2 ☐ 素材 ☐ 道具 ☐ 工程技術	1-3

わかる範囲で現在の状況をお知らせください

素材や道具の提供者（その状況）	10年前と現在の入手状況の変化	入手不可の場合はどうなりますか?
2-1	2-2	2-3

非公開情報（インターネット等では公開しない情報）

問題点の詳細（該当するものに○をお願いします）

現況	課題の種類	この課題の解決に向け、必要な取り組みはなんでしょうか
3-1 1. 既に入手不可 2. 製造業者なし 3. 製造業者がわずかである（　　軒） 4. つくることができる人が少ない 5. 素材がない 6. 代替品はあるが使えない その他：	3-2 1. 生産者・採取者がいない 2. 製法が伝承されていない/技術者がいない 3. 法的規制により入手不可 4. 品質の低下 5. 価格の高騰 6. 需要の低下により商売が成り立たない その他：	4-3

今後の可能性についてお伺いいたします

同じ素材・道具（用具）を扱っている別の業界・職人等はありますか?	代替品になり得る可能性がある素材や道具はありますか?
4-1 例）素材＝刷毛に使う人髪→鬘製造業 等	4-2

本件についてヒアリングすべきところ　※複数可（お名前・ご連絡先などわかる範囲で）

4-4

回答者情報

お名前：5-1	所属：5-2
お電話：5-3	メール：5-4
ご住所：5-5	

記入後送付先

FAX：03-3573-3315　　MAIL：info@thecreationofjapan.or.jp

回答例

YELLOW LIST 2021

10年先に枯渇が懸念される工芸素材・道具・工程技術者調査

＊本用紙に記入のほか、メールで記入欄の番号順に情報をお送りいただくこともできます　＊送信時の件名は「イエローリスト2021」でお願い致します

公開情報

枯渇が懸念される素材や道具の名称をお答えください	種別（✓記入）	その用途や使用する工程などをご記入ください
1-1 胡粉（イタボガキ）	1-2 ☑ 素材 ☐ 道具 ☐ 工程技術	1-3 工芸全般・絵画の地塗り・彩色・仕上げ・装飾・塗装に使う

わかる範囲で現在の状況をお知らせください

素材や道具の提供者（その状況）	10年前と現在の入手状況の変化	入手不可の場合はどうなりますか?
2-1 ナカガワ胡粉絵具（株）が制作・販売 世界で一軒のみ	2-2 瀬戸内海のヘドロにより20年前にイタボガキが絶滅、現在はそれ以前のものを材料として生産されている。	2-3 ・保存修復が必要なものの修復ができなくなる ・絵馬、玩具、あらゆる伝統的な人形作りができなくなる

非公開情報（インターネット等では公開しない情報）

問題点の詳細（該当するものに○をお願いします）

現況	課題の種類	この課題の解決に向け、必要な取り組みはなんでしょうか
3-1 (1) 既に入手不可 2. 製造業者なし (3) 製造業者がわずかである（ 1 軒） 4. つくることができる人が少ない 5. 素材がない 6. 代替品はあるが使えない その他： イタボガキに代わる代替品がみつかっていない	3-2 1. 生産者・採取者がいない 2. 製法が伝承されていない/技術者がいない 3. 法的規制により入手不可 4. 品質の低下 5. 価格の高騰 6. 需要の低下により商売が成り立たない その他： 素材がない	4-3 切羽詰まっている現状を業界全体で認識して、課題解決に向かう足場をつくること

今後の可能性についてお伺いいたします

同じ素材・道具（用具）を扱っている別の業界・職人等はありますか?	代替品になり得る可能性がある素材や道具はありますか?
4-1 例）素材＝刷毛に使う人髪→鬘製造業 等 豆菓子・漢方薬	4-2 天然岩ガキが代替品として考えられ、食用サイズよりも大きく養殖することでイタボガキに近づけられる可能性大

本件についてヒアリングすべきところ　※複数可（お名前・ご連絡先などわかる範囲で）

4-4

回答者情報

お名前：5-1	青木芳昭	所属：5-2	京都芸術大学
お電話：5-3	○△□-○△□-○○○○	メール：5-4	△△@□□□□.jp
ご住所：5-5	茨城県○○市△△△町1-1		

記入後送付先

FAX：03-3573-3315　MAIL：info@thecreationofjapan.or.jp

日本工芸週間トライアルプロジェクトの今後について

日本工芸週間トライアルプロジェクトは、
本年、皆様への3つの参加のお願いの結果によって、
次年度以降の実施可能性をはかってまいります。

本プロジェクトは本年急遽結成された実行委員会のボランティアをベースに、
予算ゼロでスタートいたしました。
2022年1月に実行委員会で次年度以降の活動方針を決定する予定です。
それまでに実行委員会への参加希望、ご要望、ご意見、ご感想などもお待ちしております。
（運営事務局：一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン内　info＠thecreationofjapan.or.jp）

ご参加ください1　9月22日夜 オンライン工芸有識者会議「100人の工芸」開催

9月22日参加登録＋アンケートURL：
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_gsM7F0McTZivxMH22J0RmA

ご参加ください2　全国の工芸に関する活動紹介募集（2021年9月15日まで受付）

情報提供：info@takagamine.jp宛に、活動紹介150文字と詳細が記載されたURLを活動毎にメール
➡公式ウェブ　https://takagamine.jp（2021年9月スタート）に掲載

ご参加ください3　工芸の素材と道具、工程技術者に関する調査（2022年3月31日まで受付）

調査協力：記入用紙に記入の上、FAX（03-3573-3315）もしくはinfo@takagamine.jp宛にメール
9月26日のウェビナー参加登録：
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_ydUkGgASRQyfBciLhY9MBg

2021日本工芸週間トライアルプロジェクト実行委員会

委員長	林田英樹［公益社団法人日本工芸会理事長／一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン代表理事／元国立新美術館長／元文化庁長官］
副委員長	室瀬和美［漆芸家／重要無形文化財「蒔絵」保持者／公益社団法人日本工芸会副理事長］
委員	秋元雄史［練馬区美術館長／金沢21世紀美術館名誉館長／GO FOR KOGEI　総合監修・展覧会キュレーター］
委員	浦 淳［GO FOR KOGEI プロデューサー／認定NPO法人趣都金澤理事長／建築家］
委員	山崎伸吾［KYOTO KOUGEI WEEK ディレクター／京都伝統工芸ミュージアム＆京都職人工房ディレクター／KYOTO CRAFTS MAGAZINE エディター］
委員	山田 立［株式会社つくる代表取締役／株式会社玉川堂番頭］
委員（団体）	公益社団法人日本工芸会
委員（団体）	認定NPO法人趣都金澤
委員（団体）	一般社団法人パースペクティブ
委員（団体）	一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン
監事	恵良隆二［一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン監事／公益財団法人横浜市文化芸術振興財団専務理事］
事務局長	岩関禎子［一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン専務理事兼事務局長］